2020年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月８日

上場会社名　　山陽電気鉄道株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　9052　　ＵＲＬ　http://www.sanyo-railway.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）上門　一裕
問合せ先責任者　（役職名）経営統括本部マネージャー　　（氏名）水谷　大輔　ＴＥＬ　078-612-2032

四半期報告書提出予定日　2019年11月11日　　配当支払開始予定日　2019年12月６日
四半期決算補足説明資料作成の有無：　有
四半期決算説明会開催の有無　　：　無

（百万円未満切捨て）

１．2020年３月期第２四半期の連結業績（2019年４月１日～2019年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年３月期第２四半期	25,142	4.9	2,431	26.6	2,463	27.6	1,662	27.9
2019年３月期第２四半期	23,972	1.8	1,920	△9.8	1,930	△9.9	1,299	△12.2

（注）包括利益　2020年３月期第２四半期　1,626百万円（20.4%）　2019年３月期第２四半期　1,351百万円（△23.5%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年３月期第２四半期	74.80	―
2019年３月期第２四半期	58.47	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年３月期第２四半期	97,731	41,521	41.4
2019年３月期	98,011	40,228	40.0

（参考）自己資本　2020年３月期第２四半期　40,459百万円　2019年３月期　39,232百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年３月期	―	12.50	―	15.00	27.50
2020年３月期	―	15.00			
2020年３月期（予想）			―	15.00	30.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．2020年３月期の連結業績予想（2019年４月１日～2020年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,330	△0.3	3,801	3.1	3,837	2.8	2,514	10.0	113.17

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　有

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：　無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無
②　①以外の会計方針の変更　：　無
③　会計上の見積りの変更　：　無
④　修正再表示　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年３月期２Ｑ	22,330,598株	2019年３月期	22,330,598株
②　期末自己株式数	2020年３月期２Ｑ	109,035株	2019年３月期	108,583株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2020年３月期２Ｑ	22,221,788株	2019年３月期２Ｑ	22,223,001株

※　四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（追加情報） …… 8
（セグメント情報） …… 9
３．四半期決算補足説明資料 …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績や雇用・所得環境の改善が続くなか、景気は緩やかな回復が期待されるものの、海外情勢の不確実性などの影響を受け、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような情勢のなか、鉄道事業においては、沿線を巡って楽しんでいただけるよう、各種イベントを実施したほか、沿線の観光資源をＰＲすることで、国内だけでなく国外からの旅客誘致にも取り組みました。流通業においては、山陽百貨店で新規店舗の導入や人気催事の開催を通じてさらなる収益拡大に努めました。また、不動産業においては、分譲マンション事業を積極的に推進しました。

当第２四半期連結累計期間の経営成績は、営業収益は25,142百万円と前同四半期連結累計期間に比べ1,169百万円（4.9％）の増収となり、営業利益は2,431百万円と前同四半期連結累計期間に比べ510百万円（26.6％）の増益、経常利益は2,463百万円と前同四半期連結累計期間に比べ532百万円（27.6％）の増益となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,662百万円と前同四半期連結累計期間に比べ362百万円（27.9％）の増益となりました。

事業の種類別セグメントの業績を示すと、次のとおりとなります。

なお、第１四半期連結会計期間よりセグメント区分を変更しています。詳細は「２．（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報）」に記載のとおりであります。

①運輸業

鉄道事業におきましては、沿線企業の活況が継続しているほか、桜イベント「敦盛桜」や、アニメ「忍たま乱太郎」とのコラボレーション企画を実施したことや、10月１日からの消費税率引き上げに伴う先買いの影響もあり、定期・定期外運賃収入ともに増収となりました。バス事業では、明石市コミュニティバス路線の一部を他事業者に引き継いだことなどで減収となりました。

運輸業全体では、外部顧客に対する営業収益は10,118百万円と前同四半期連結累計期間に比べ155百万円（1.6％）の増収となり、営業利益は1,127百万円と前同四半期連結累計期間に比べ364百万円（47.8％）の増益となりました。

②流通業

百貨店業におきましては、美術・宝飾品等の高額美術催事が好調に推移したことや、化粧品を中心とする婦人雑貨が好調であったことなどにより増収となりました。コンビニエンスストア業におきましては、「ローソン＋フレンズ」の各店舗が堅調に推移したことにより、増収となりました。

流通業全体では、外部顧客に対する営業収益は10,909百万円と前同四半期連結累計期間に比べ282百万円（2.7％）の増収となり、営業利益は204百万円と前同四半期連結累計期間に比べ37百万円（22.6％）の増益となりました。

③不動産業

分譲事業におきましては、大阪府泉大津市で「プレイズ泉大津」や西宮市で「ルネ西宮仁川」の引き渡しがあったことにより、大幅な増収となりました。また、賃貸事業では、前年に取得した「ルネサンス上板橋」や「エス・キュート梅田東」の収入が通期で寄与したことにより、増収となりました。

不動産業全体では、外部顧客に対する営業収益は2,444百万円と前同四半期連結累計期間に比べ694百万円（39.7％）の増収となり、営業利益は940百万円と前同四半期連結累計期間に比べ64百万円（7.3％）の増益となりました。

④レジャー・サービス業

飲食業におきましては、ケンタッキー・フライド・チキンで様々なキャンペーンを展開したことにより増収となったものの、一部喫茶店の閉店等により減収となりました。

レジャー・サービス業全体では、外部顧客に対する営業収益は995百万円と前同四半期連結累計期間に比べ14百万円（1.4％）の減収となりましたが、諸費用の減少により営業利益は42百万と前同四半期連結累計期間比べ39百万円(前年同期は２百万円)の増益となりました。

⑤その他の事業

その他の事業におきましては、一般労働者派遣業において沿線自治体からの受注を受託できたことにより、増収となりました。

外部顧客に対する営業収益は673百万円と前同四半期連結累計期間に比べ50百万円（8.2％）の増収となりましたが、営業利益は80百万円と前同四半期連結累計期間に比べ18百万円（18.6％）の減益となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第２四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて279百万円減少し、97,731百万円となりました。また、純資産は前連結会計年度末に比べて1,292百万円増加し、41,521百万円となり、自己資本比率は41.4％となりました。増減の主な内訳は、資産の部では現金及び預金が1,566百万円減少しております。負債の部では支払手形及び買掛金が1,212百万円減少しております。純資産の部では、利益剰余金が1,328百万円増加しております。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第２四半期までの業績及び今後の見通しを勘案し、2019年８月６日に公表しました業績予想を変更いたしております。

通期の業績予想につきましては、営業収益は51,330百万円と前連結会計年度に比べ145百万円（0.3％）の減収となり、営業利益は3,801百万円と前連結会計年度に比べ115百万円（3.1％）の増益、経常利益は3,837百万円と前連結会計年度に比べ103百万円（2.8％）の増益となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は2,514百万円と前連結会計年度に比べ228百万円（10.0％）の増益を見込んでおります。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2019年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （2019年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,893	6,327
受取手形及び売掛金	2,312	3,087
商品及び製品	1,065	1,137
分譲土地建物	4,432	4,867
その他	801	916
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	16,503	16,334
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	36,547	36,396
機械装置及び運搬具（純額）	7,909	10,073
土地	22,088	22,396
建設仮勘定	2,761	621
その他（純額）	1,044	991
有形固定資産合計	70,352	70,479
無形固定資産	304	290
投資その他の資産		
投資有価証券	6,637	6,427
長期貸付金	68	63
退職給付に係る資産	2,588	2,561
繰延税金資産	258	331
その他	1,315	1,259
貸倒引当金	△16	△15
投資その他の資産合計	10,851	10,626
固定資産合計	81,508	81,397
資産合計	98,011	97,731

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2019年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （2019年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,608	5,395
短期借入金	5,616	5,258
未払法人税等	815	822
賞与引当金	552	553
役員賞与引当金	36	－
商品券等使用引当金	233	235
その他	8,135	8,804
流動負債合計	21,998	21,070
固定負債		
社債	6,000	6,000
長期借入金	23,739	23,093
繰延税金負債	33	57
退職給付に係る負債	1,500	1,548
長期前受工事負担金	51	178
受入敷金保証金	3,982	3,833
その他	475	429
固定負債合計	35,784	35,140
負債合計	57,782	56,210
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,090	10,090
資本剰余金	6,853	6,854
利益剰余金	20,268	21,596
自己株式	△171	△172
株主資本合計	37,040	38,368
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,496	1,415
退職給付に係る調整累計額	696	675
その他の包括利益累計額合計	2,192	2,090
非支配株主持分	996	1,062
純資産合計	40,228	41,521
負債純資産合計	98,011	97,731

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 2018年４月１日 至 2018年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 2019年４月１日 至 2019年９月30日）
営業収益	23,972	25,142
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	19,343	20,195
販売費及び一般管理費	2,708	2,515
営業費合計	22,051	22,711
営業利益	1,920	2,431
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	87	77
持分法による投資利益	1	1
雑収入	118	148
営業外収益合計	207	227
営業外費用		
支払利息	129	129
雑支出	68	66
営業外費用合計	198	196
経常利益	1,930	2,463
特別利益		
工事負担金等受入額	93	326
固定資産売却益	0	13
投資有価証券売却益	80	－
特別利益合計	174	339
特別損失		
工事負担金等圧縮額	93	326
固定資産除却損	14	4
特別損失合計	107	330
税金等調整前四半期純利益	1,996	2,471
法人税、住民税及び事業税	664	749
法人税等調整額	△23	△8
法人税等合計	640	740
四半期純利益	1,356	1,731
非支配株主に帰属する四半期純利益	57	69
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,299	1,662

（四半期連結包括利益計算書）

（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 2018年４月１日 至 2018年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 2019年４月１日 至 2019年９月30日）
四半期純利益	1,356	1,731
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2	△85
退職給付に係る調整額	△2	△19
その他の包括利益合計	△5	△104
四半期包括利益	1,351	1,626
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,295	1,560
非支配株主に係る四半期包括利益	55	66

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

（表示方法の変更）

当社及び須磨浦遊園株式会社の「索道事業」、「遊園事業」における「一般管理費」について、従来、「営業費」の「販売費及び一般管理費」に表示しておりましたが、第１四半期連結会計期間より、「運輸業等営業費及び売上原価」に表示しております。

この変更は、当連結会計年度を初年度とする山陽電鉄グループ中期経営計画において重点施策である「各事業の連携強化による企業価値の向上」を踏まえ、従来、「レジャー・サービス業」及び「その他の事業」に区分しておりました「索道・遊園事業」において、それぞれの施設運営を当社の直営とし、施設管理・営業の両面から鉄道事業と一体にして運営を行う方針となったことから、「運輸業」にセグメント変更を行うことによるものであります。

なお、この変更を反映させるため、前第２四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。この結果、「販売費及び一般管理費」に表示しておりました11百万円は、「運輸業等営業費及び売上原価」に表示しております。

（セグメント情報）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（2018年４月１日～2018年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・サービス業	その他の事業	計		
営業収益								
(1) 外部顧客に対する営業収益	9,963	10,626	1,750	1,009	622	23,972	－	23,972
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	195	26	347	30	1,051	1,650	△1,650	－
計	10,159	10,653	2,097	1,039	1,673	25,623	△1,650	23,972
セグメント利益	762	166	876	2	99	1,907	13	1,920

（注）１．セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去13百万円であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（2019年４月１日～2019年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・サービス業	その他の事業	計		
営業収益								
(1) 外部顧客に対する営業収益	10,118	10,909	2,444	995	673	25,142	－	25,142
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	199	18	225	28	876	1,346	△1,346	－
計	10,317	10,928	2,669	1,023	1,550	26,489	△1,346	25,142
セグメント利益	1,127	204	940	42	80	2,395	36	2,431

（注）１．セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去36百万円であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントの変更等に関する事項

「２．（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項　追加情報（表示方法の変更）」に記載の通り、第１四半期連結会計期間より、従来、「レジャー・サービス業」及び「その他の事業」に含めて表示しておりました当社及び須磨浦遊園株式会社の「索道事業」及び「遊園事業」を、「運輸業」の「鉄道事業」に含めて表示しております。

なお、前第２四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントの区分方法により作成しております。

３．四半期決算補足説明資料

（１）セグメント情報（連結）

（連結業績）

外部顧客に対する営業収益　　（単位：百万円）

	2020年３月期 第２四半期 (実績)	2019年３月期 第２四半期 (実績)	増減額	増減率 (％)
運輸業	10,118	9,963	155	1.6
流通業	10,909	10,626	282	2.7
不動産業	2,444	1,750	694	39.7
レジャー・サービス業	995	1,009	△14	△1.4
その他の事業	673	622	50	8.2
計	25,142	23,972	1,169	4.9

営業利益　　（単位：百万円）

	2020年３月期 第２四半期 (実績)	2019年３月期 第２四半期 (実績)	増減額	増減率 (％)
運輸業	1,127	762	364	47.8
流通業	204	166	37	22.6
不動産業	940	876	64	7.3
レジャー・サービス業	42	2	39	―
その他の事業	80	99	△18	△18.6
消去	36	13	22	174.2
計	2,431	1,920	510	26.6

（連結業績予想）

外部顧客に対する営業収益　　（単位：百万円）

	2020年３月期 通期(予想)	2019年３月期 通期(実績)	増減額	増減率 (％)
運輸業	19,652	19,716	△64	△0.3
流通業	21,757	22,019	△262	△1.2
不動産業	6,758	6,414	344	5.4
レジャー・サービス業	1,958	2,082	△123	△5.9
その他の事業	1,203	1,242	△39	△3.2
計	51,330	51,475	△145	△0.3

営業利益　　（単位：百万円）

	2020年３月期 通期(予想)	2019年３月期 通期(実績)	増減額	増減率 (％)
運輸業	1,096	1,052	43	4.1
流通業	350	322	28	8.8
不動産業	2,219	2,129	90	4.3
レジャー・サービス業	28	42	△13	△32.5
その他の事業	96	129	△33	△25.5
消去	10	10	―	―
計	3,801	3,686	115	3.1

（２）金融収支（連結）　　（単位：百万円）

	2020年３月期第２四半期(実績)	2020年３月期通期(予想)	2019年３月期通期(実績)	増減額	増減率(％)
受取利息・配当金	78	147	155	△8	△5.4
支払利息・社債利息	129	266	259	6	2.6
計	△51	△118	△103	△15	―

（３）減価償却費（連結）　　（単位：百万円）

2020年３月期第２四半期(実績)	2020年３月期通期(予想)	2019年３月期通期(実績)	増減額	増減率(％)
1,888	3,922	4,074	△152	△3.7

（４）設備投資額（連結）　　（単位：百万円）

	2020年３月期通期(予想)	2019年３月期通期(実績)	増減額	増減率(％)
運輸業	6,443	5,636	807	14.3
流通業	138	82	55	68.1
不動産業	1,797	2,702	△904	△33.5
レジャー・サービス業	127	154	△26	△17.0
その他の事業	16	16	0	0.0
計	8,524	8,591	△67	△0.8

（５）鉄道事業運輸成績表（個別）

（収入）　　（単位：百万円）

	2020年３月期第２四半期(実績)	2019年３月期第２四半期(実績)	増減額	増減率(％)
定期外	3,495	3,411	84	2.5
定期	3,219	3,093	125	4.1
通勤	2,767	2,665	102	3.8
通学	451	428	23	5.5
計	6,715	6,505	210	3.2

（人員）　　（単位：千人）

	2020年３月期第２四半期(実績)	2019年３月期第２四半期(実績)	増減	増減率(％)
定期外	11,818	11,450	368	3.2
定期	19,673	18,842	831	4.4
通勤	14,466	13,894	571	4.1
通学	5,207	4,947	260	5.3
計	31,492	30,293	1,199	4.0